

定期作況報告

(平成23年7月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。

6月下旬：平均最高気温が20.6℃（対平年比+2.4℃）と平年より高く、平均最低気温が11.9℃（+0.9℃）と平年よりやや高かったため、平均気温は16.0℃（+1.5℃）と平年より高かった。降水量は22.0mm(88%)、日照時間は54.6時間（112%）、畑地温は12.9℃（-0.1℃）といずれも平年並であった。

7月上旬：平均最高気温が22.0℃（+3.2℃）、平均最低気温は15.0℃（+3.0℃）といずれも平年より高かったため、平均気温は18.0℃（+2.7℃）と平年より高かった。降水量は22.0mm(65%)と平年よりやや少なく、日照時間は40.9時間（97%）と平年並であった。畑地温は15.4℃（+1.3℃）と平年よりやや高かった。

7月中旬：平均最高気温が20.4℃（+1.1℃）、平均最低気温が14.3℃（+1.2℃）といずれも平年よりやや高かったため、平均気温は16.9℃（+0.9℃）と平年よりやや高かった。降水量は14.5mm(28%)と平年より少なく、日照時間は22.3時間（67%）と平年よりやや短かった。畑地温は15.8℃（+1.2℃）と平年よりやや高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は16.9℃（+1.7℃）と平年より高かった。降水量の3旬の合計は58.5mm（53%）と平年より少なかった。日照時間の3旬合計は117.8時間（950%）と平年並であった。畑地温は14.6℃（+0.7℃）と平年よりやや高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に、降水量はやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	16.0	14.5	1.5	18.0	15.3	2.7	16.9	16.0	0.9	16.9	15.2	1.7
平均最高気温（℃）	20.6	18.2	2.4	22.0	18.8	3.2	20.4	19.3	1.1	21.0	18.7	2.3
平均最低気温（℃）	11.9	11.0	0.9	15.0	12.0	3.0	14.3	13.1	1.2	13.7	12.0	1.7
降水量（mm）	22.0	25.0	△ 3.0	22.0	34.0	△ 12.0	14.5	51.3	△ 36.8	58.5	110.3	△ 51.8
降水日数（日）	4	4	0	4	3	1	4	5	△ 1	12	12	0
日照時間（hrs）	54.6	48.7	5.9	40.9	42.1	△ 1.2	22.3	33.2	△ 10.9	117.8	124.0	△ 6.2
平均畑地温（10cm,℃）	12.9	13.0	△ 0.1	15.4	14.1	1.3	15.8	14.6	1.2	14.6	13.9	0.7
最多風向	E			SW			ESE					
平均風速（m/s）	3.5			2.5			3.0					

注1）平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2）平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3）降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4）△印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月21日～7月20日）

	平均気温 （℃）	降水量 （mm）	日照時間 （hrs）	畑地温 （℃）
本 年	1,020	167	362	839
平 年	1,047	248	448	908
比 較	△ 27	△ 81	△ 86	△ 69

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（1番草・2番草）

作況：不良

事由：1番草の出穂始は平年より3日遅れ、乾物収量は平年比80%と低かった。これは1番草の生育期間の気温がやや低く推移したことによると考えられる。2番草の草丈は平年よりやや高かったが、刈取後の再生が始まる6月下旬から7月上旬にかけて気温が高く推移し、かつ降水量が平年と大差なかったため、順調に生育したと考えられる。

以上から、2番草の生育はおおむね平年並と見られるが、1番草収量が平年より低いことから、目下の作況は不良である。

調査項目：

出 穂 始（月・日）			収 穫 期（月・日）			収 穫 時 草 丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6.22	6.19	3	6.27	6.24	3	105	103	2

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
3,302	3,803	△501	17.8	19.4	△1.6	588	739	△151	80 %

草 丈（2番草・cm）		
本年	平年	比較
39	33	6

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（2番草）

作況：平年並

事由：草丈は平年より2cm高く、乾物収量は平年比105%であり、いずれも平年並であった。生育期間は気温が高く、降水量が少なく推移しているが、現時点では高温、干ばつ等の影響は発生していないと見られる。

以上より、目下の作況は平年並である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
38	36	2

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
946	754	192	15.4	18.7	△3.3	146	139	7	105 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。